

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和5年度においては、小中学校や青少年野外活動センターなど次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による小中学校の椅子や机等整備を実施しました。
- また、区役所や交流会館といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、キッズスペースの備品や屋外ウッドデッキの整備を実施しました。

□ 事業内容

市立図書館における閲覧机・椅子・書架等整備事業

- ・市立図書館に国産木材を利用した閲覧机・椅子・書架等を整備した。

【事業費】18,266千円（うち譲与税18,266千円）

【実績】中央図書館ほか23館、備品・消耗品

□ 事業スキーム

- ・制限付一般競争入札
- ・公募型比較見積による随意契約

□ 工夫・留意した点

- ・老朽化した図書館の書架等の備品を更新するとともに、身近に木の良さを感じてもらえるようオリジナルグッズを製作した。



□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人		⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より